



宝福寺

## 岡山県 総社市

### ご挨拶 〜サミットに寄せて〜

総社市長 片岡 聡一



総社市で生まれ、井原市で最期を迎えたとの説もある画聖・雪舟。その一生は謎も多い雪舟ですが、六〇〇年の時を経て、残した作品と軌跡で繋がった五市がこうして集まり、歴史を紡いでいることに壮大な浪漫を感じます。雪舟最期の地で開催される雪舟サミットに生誕地・総社市の首長として参加できることに大きな喜びを感じています。偉大な画聖・雪舟ゆかりの五市がお互いに協力し、次の世代に雪舟の功績を語り継いでいきたいと思います。

### 市の紹介

総社市は、岡山県南西部に位置する人口約七万人のまちです。温暖な気候と市の中央を流れる高梁川の清流の恵みを受けた自然豊かなまちで、古代から吉備の国の中心として栄えてきました。日本遺産の構成文化財に認定された、古代山城の鬼ノ城や、全国有数の巨大な古墳である作山古墳をはじめとする無数の古墳群や備中国分寺・尼寺跡など当時の繁栄を物語る貴重な文化財、史跡が多く残っています。

雪舟が幼いころ修行したとされる、井山宝福寺（総社市井原野）の禅宗独特の趣ある七堂伽藍を備えた境内は、四季折々に訪れる人々を感動させてくれます。

また、総社市のイメージキャラクター「チュッピー」は、宝福寺で修行した雪舟が描いたねずみをモチーフにして誕生したキャラクターで、総社市が推進する「子育て王国」の Mascot トキャラクターとして、その愛くるしい姿は、総社市民だけではなく全国から愛されています。

### 雪舟とのつながり

雪舟は、応永二十七年（一四二〇年）に備中赤浜（現総社市赤浜）に生まれ、少年時代を総社市で過ごしました。緑豊かなこの赤浜の地に立つ石碑は、地域住民から八〇年以上にわたって大切に守られてきました。雪舟生誕六〇〇年の節目となる令和二年（二〇二〇年）に、開園した雪舟生誕地公園は、雪舟の功績を顕彰するとともに、イベントなどで多くの人々が集う憩いと交流の場として活用されています。

宝福寺で修行していた雪舟が、流した涙で足の指を使ってねずみの絵を描いたという話は有名です。修行よりも好きな絵ばかりを描いていた雪舟をこらしめるために、和尚は雪舟を柱に縛りつけました。しばらくして和尚が縄を解きに行ってみると、雪舟が自らの涙で描いた本物と見間違ふほどのねずみの絵を見て、和尚はたいそう感心し、以後雪舟に絵を描くことを許したといわれています。



雪舟生誕地公園